※令和４年度以降入学生用

学校番号	３００２

令和５年度　農業科（ハイテク農芸科）

教科	農業	科目	農業と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「農業と情報」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

農業の各分野に共通する内容でもある情報処理の知識と技術について学習する科目です。座学を通して農業における情報化の進展と情報の意義や役割、活用について理解しましょう。また、実技を通して情報処理の基礎的な知識と技術を身につけ、グループワークでコミュニケーション力を身につけましょう。

2　学習の到達目標

・社会における情報化の進展と情報の意義や役割、活用について理解する。
・農業における情報処理と知的財産権に関する知識と技術を習得する。
・農業情報及び環境情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報化社会の特徴や仕組み、農業や環境の情報に関する基礎的な知識を身につけ、情報技術及び情報通信ネットワークの活用が環境保全や農林業の持続的な発展に果たす役割を理解している。 情報化社会の特徴や仕組み、農業や環境の情報に関する基礎的な技術を身につけ、情報の収集・分析・発信するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	情報化社会の特徴や仕組み、農業や環境の情報に関心をもち、諸課題の解決をめざして思考を深めている。基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身につけている。	情報化社会の特徴や仕組み、農業や環境の情報に関心をもち、情報の収集・分析・発信に関する課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	私たちの生活と農業の情報化	・情報化社会、知的財産権と情報モラルについて考える。 ・農業の情報化が進んでいることを理解する。	a：農業の情報化や知的財産権と情報モラルについて理解し、基礎的・基本的な技術を身につけている。 b：農業の情報化や知的財産権と情報モラルにおける諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c：農業の情報化や知的財産権と情報モラルについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうといている。	学習状況の観察 定期テスト 小テスト 実技 発表	レポート ワークファイルの記述 発表 定期考査	学習状況の観察 発表 自己評価 相互評価
	社会を支えるコンピュータ	・ハードウェアとソフトウェアについて理解する。 ・情報通信ネットワークについてその種類や役割を理解する。 ・情報のセキュリティ管理について理解する。	a：ハードウェアとソフトウェアや情報通信ネットワーク、情報のセキュリティ管理について理解し、基礎的・基本的な技術を身につけている。 b：ハードウェアとソフトウェアや情報通信ネットワーク、情報のセキュリティ管理における諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c：ハードウェアとソフトウェアや情報通信ネットワーク、情報のセキュリティ管理について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうといている。	学習状況の観察 定期テスト 小テスト 実技 発表	レポート ワークファイルの記述 発表 定期考査	学習状況の観察 発表 自己評価 相互評価

※令和４年度以降入学生用

2学期	コミュニケーションと情報デザイン	・文書作成ソフトを利用して文書を作成する。 ・表計算ソフトを利用してデータの処理を行うことができる。 ・画像や図形処理ソフトを使って基本的な画像処理を行うことができる。 ・文書作成ソフト、表計算ソフト、画像・図形処理ソフトをまとめて使い、基礎的な情報処理を行うことができる。	a：文書作成ソフトや表計算ソフト、画像や図形処理ソフトについて理解し、基礎的・基本的な技術を身につけている。 b：文書作成ソフトや表計算ソフト、画像や図形処理ソフトにおける諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c：文書作成ソフトや表計算ソフト、画像や図形処理ソフトについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうといている。	学習状況の観察 定期テスト 小テスト 実技 発表	レポート ワークファイルの記述 発表 定期考査	学習状況の観察 発表 自己評価 相互評価
	スマート農業への展望	・スマート農業について理解し、どんな技術が利用されているかを理解して考える。 ・リモートセンシングと地理情報システムの概要について理解し、取得した情報を活用する。	a： スマート農業やリモートセンシングと地理情報システムについて理解し、基礎的・基本的な技術を身につけている。 b：スマート農業やリモートセンシングと地理情報システムにおける諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c：スマート農業やリモートセンシングと地理情報システムについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうといている。	学習状況の観察 定期テスト 小テスト 実技 発表	レポート ワークファイルの記述 発表 定期考査	学習状況の観察 発表 自己評価 相互評価
3学期	農業情報の分析と活用	・農業情報の収集と分析について理解する。 ・農業情報の種類と内容、それら伝達するためのメディアについて理解する。 ・森林情報の種類と内容及びその活用技術について理解する。 ・環境情報の種類と内容及びその活用技術について理解する。	a：農業情報の収集と分析や森林情報、環境情報について理解し、基礎的・基本的な技術を身につけている。 b：農業情報の収集と分析や森林情報、環境情報における諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c：農業情報の収集と分析や森林情報、環境情報について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうといている。	学習状況の観察 定期テスト 小テスト 実技 発表	レポート ワークファイルの記述 発表 定期考査	学習状況の観察 発表 自己評価 相互評価

※令和４年度以降入学生用

	農業学習と情報活用	・農業学習とプロジェクト学習の特徴について理解する。 ・プレゼンテーションソフトを使って基本的なプレゼンテーションを行うことができる。 ・基本的な HTML を理解し、Web ページを作成することができる。 ・データベースソフトの特徴や機能を理解する。 ・プロジェクトをまとめ、情報通信ネットワークを活用して情報発信する。	a：農業学習とプロジェクト学習について理解し、基礎的・基本的な技術を身につけている。 b：農業学習とプロジェクト学習における諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c：農業学習とプロジェクト学習について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうといている。	学習状況の観察 定期テスト 小テスト 実技 発表	レポート ワークファイルの記述 発表 定期考査	学習状況の観察 発表 自己評価 相互評価

※　表中の観点について　a：知識・技術　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度